

# パレスチナにおける市場志向型農業 <その6>

## 今後の展開

本シリーズでは過去5回にわたってパレスチナにおける市場志向型農業の一層の促進に向けて有効と考えられる各種候補技術の実証活動について紹介してきた。今回はその最終回として、活動を通して得られた教訓やそこから考えられる今後の展開について検討し、その結果を下表に示した。

候補技術の導入効果については、基本的には技術導入の有無による収益性の違いを評価する意向を示した農家にプロジェクトから資機材を投入し、かつ技術的アドバイスを提供し、これらの農家に記録を取ってもらい、その結果を技術導入しない場合の収益性と比較して判断した。そのために、農家が容易に記載できるような営農記録用のノートを作成し、参加農家を対象にその使用方法に関する研修を行った。この営農記録用ノートは農家が営農記録を残すことにより、作物間の収益性の

比較や同一作物による前作との比較等も可能となり、農家がクロップバジェットに基づいて営農計画を検討する場合のツールとしても極めて有効であることが多くの農家によって理解された。

プロジェクト期間中に実施した技術検証活動を通して得られた経験を基に、それぞれの技術の有用性を示すポスターやブローシャーを作成して普及教材として利用することに加えて、今後の普及活動の指針として技術別にマニュアルを作成した。今後、パレスチナ農業庁はこの技術マニュアルを有効に利用して、それぞれの技術をプロジェクト対象地域以外にも広く普及していくこととしている。それぞれの技術が地域の農民達によって適正に導入そして活用され、そのことが地域住民の生計向上につながることを心から祈っている。

導入技術	活動を通して得られた教訓	考えられる今後の展開
灌漑施設の診断	テンシオメータの利用や灌漑ネットワークの適正化によって節水や収量増が可能になるものの、長期的な視野に立てば農家に対するソフト面(適正灌漑水量や適正灌漑頻度)の教育が極めて重要であることが分かった。そのため、普及員による灌漑施設の診断能力強化に力を注ぎ、ソフト面の改善に対しても農家に対して効果的な提案が出来るようにした。	各活動に参加した普及員は実践を通して技術と知識を向上させている。診断自体にはそれほどコストがかからないことや、様々な機会を通じた灌漑施設診断サービスの宣伝効果により、診断を希望する農家の数は増加している。今後各農家により診断結果に従った措置が取られることによって収益性の改善につながる効果を期待したい。
接木苗の生産と利用	接木栽培の成功は接木苗の品質に大きく影響されるため、接木苗を生産する育苗会社や農民グループは異品種混入の回避、病虫害汚染の防止、定植適期の出荷に努め、農家との信頼を築かねばならないことが分かった。接木苗品質の維持管理を生産者に任せるのではなく、普及員や農家が接木苗品質に対する監視の目を持てるようにすることも重要である。	接木苗を導入したい農家が接木栽培のポジティブな面とネガティブな面を納得した上で接木苗の栽培を行えるように、事前に接木栽培と慣行栽培の違いを農家によく説明することが望まれる。さらに、トマト、キュウリ、スイカの接木栽培においては、栽培管理技術の更なる改善や収益性の検討が求められている。
堆肥の製造と利用	堆肥の製造と利用については、各製造センターで生産された堆肥の利用者からは基本的には良い評価が得られた。しかしながら利用は未だ限定的であり、施用量が未整備であることや堆肥の役割を農家が十分に理解していないことが導入を躊躇する原因と考えられた。多くの農家は堆肥を化学肥料の代用と考える傾向が強く、投入した作付けにおける増収を期待している。	堆肥は肥料効果を持ちつつも、基本的には土壌改良剤として連用による地力の増進を期待して投入されるべきである。今後、研修やデモの機会に堆肥の持つ特徴を農民に分かり易く説明し、その特徴に応じた投入がなされるような活動が期待される。
サイレージの製造と利用	ドナーから供与された機材が使われずに放置される場合が多かったので、本プロジェクトでは製造機材の貸出システムによる共同利用を推進し、持続的な機材の維持管理体制の構築を試みた。しかしながら、機材の無償供与を継続する団体もあり、ドナーや NGO の活動はその目指す方向に関して調整が必要であると考えられた。	機材の導入により多くの農家がサイレージを製造するようになったものの、製造したサイレージの給餌方法は農家によってまちまちで、不適正な給餌により動物が悪影響を受ける事例も認められた。サイレージの利用試験については粗飼料のみをサイレージに置き換えるという大幅に単純化した試験しか実施出来なかったが、今後は試験場レベルで飼料別の栄養価の違いに基づいた詳細な試験を実施し、その結果に基づいた農家に対する適正な指導が望まれる。